

## 奈良県における取組

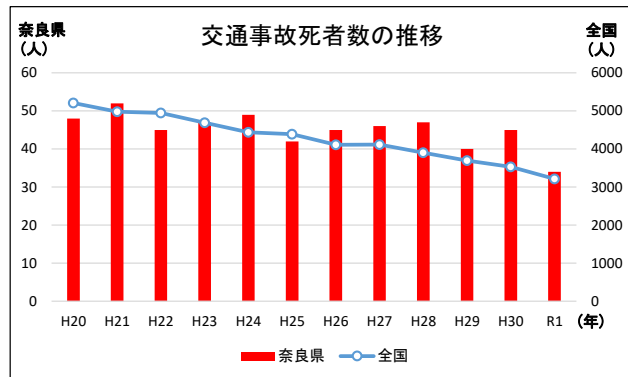
### 交通安全対策

奈良県における交通事故死者数は、令和元年中は減少したものの、中長期的に見ると下げ止まりの状態にあり、高齢者人口の増加による高齢者特有の交通事故の増加が懸念される中、さらなる交通事故死者数の減少には、交通環境の改善は不可欠である。

しかしながら、全国においても特に厳しい当県の財政事情から、十分な交通安全施設が整備されているとは言えず、LED式信号灯火や歩車分離式信号機への改修、既設信号機の増灯や横断歩道の新設・改修等、行うべき交通安全対策が、予算上限定的にならざるを得ない状況にある。

また、既存の交通安全施設についても、同様の理由から老朽化対策が不十分で、灯火異常や倒壊の危険性が高まっており、計画的な施設の更新が必要である。

このように、交通死亡事故抑止対策とインフラ老朽化対策を、並行して推進していく必要があるにもかかわらず、極めて限られた予算の範囲内では、十分な対策を講じられない状況にある。



LED式信号灯器の整備状況

	全国	奈良	滋賀	京都	大阪	兵庫	和歌山
車両用灯器総数	1,269,476	14,678	15,769	23,525	80,054	46,226	12,124
うちLED	768,638	7,345	10,195	12,924	54,352	17,965	9,336
割合	60.5%	50.0%	64.7%	54.9%	67.9%	38.9%	77.0%

信号制御器更新状況

	全国	奈良	滋賀	京都	大阪	兵庫	和歌山
信号制御器総数	206,492	2,013	2,373	3,309	11,898	7,248	1,813
うち更新数	8,835	74	74	59	322	320	92
割合	4.3%	3.7%	3.1%	1.8%	2.7%	4.4%	5.1%

## 国にお願いすること

### 交通安全対策

第10次交通安全基本計画の目標達成に向け、安全で快適な交通環境を整備するためには、**交通危険箇所の改善**に加え、**老朽化した交通安全施設の戦略的な維持管理・更新**の必要があるが、当県は極めて厳しい財政事情にあることから、**補助対象事業の拡大**を要望する。